

府中市立学校給食センター施設整備の進捗状況について

1 府中市立学校給食センターの経緯

府中市立学校給食センターは、府中市立学校において実施する学校給食の調理等の業務を一括して行うため開設されました。第一学校給食センターは昭和 45 年（1970 年）6 月に開設され、中学校給食の全校同時開始と新設小学校の給食提供からスタートいたしました。自校式調理校の大規模改修工事等によるセンター方式への移行とさらに、小・中学校が段階的に増え、一つの給食センターでの食数対応が限界となり、第二学校給食センターが昭和 50 年 7 月に開設され、さらに平成 5 年食器洗浄を行う学校給食洗浄センターが開設されました。現在、第一学校給食センターから小学校 19 校に約 12,700 食を、第二学校給食センターからは、中学校 11 校に約 6,000 食を提供しております。第一・第二学校給食センターは約 40 年、学校給食洗浄センターは約 20 年が経過し、いずれも老朽化が著しくなり、維持管理が厳しくなっております。

2 学校給食センターの老朽化対策の施設整備検討

平成 21 年度教育部職員によるプロジェクトチームでの検討から始まり、平成 22 年度に市民参加の府中市学校給食センター施設整備検討協議会を設置し、建て替えのための用地の確保などに着手し、施設整備を迅速に進めるようにとの報告をいただきました。平成 23 年度から平成 24 年度にかけては、基本構想の策定のため、コンサルを導入し、併せて栄養士、調理員を中心とした内部プロジェクトで、会議や視察等を重ね検討し、基本構想を策定いたしました。

基本構想は、平成 24 年 7 月の教育委員会で承認をいただき、8 月に議会に報告をいたしました。現在、基本計画策定に向け、取組みを進めております。

3 府中市立学校給食センター基本構想

①基本理念

将来を担う子どもたちが、食事を通して、食や地域の産業、文化への理解を深め、心身ともに健やかに成長することができるよう、温もりが感じられ魅力ある学校給食づくりを進めていきます。

②基本方針

学校給食センターの建て替えに当たり、22,000 食の給食を提供できる自己完結的な施設として整備することから、これを機に小・中学校すべての学校に給食センターから給食を提供していきます。

新たな学校給食センター整備では、

- ア 給食内容の充実及び安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、生きた教材として活用。
 - イ 文部科学省が示す「学校給食衛生管理基準」を遵守した給食。
 - ウ 府中っ子の食育の拠点。
 - エ 省資源・省エネルギーなど地球環境に配慮した施設。
 - オ 児童・生徒と市民のための新しい機能を導入。
 - カ 行財政改革の方針に基づいた効果的な運用。
- の6つの事項を学校給食センター整備の基本方針としております。

4 建替え用地の状況

教育委員会から市長部局に依頼し、朝日町3丁目の調布基地跡地の下水道処理場予定地の一部が利用計画の変更により下水道処理場用地としないとの決定がされ、学校給食センター建替用地と白糸台消防署の移転用地として、府中市として東京都・三鷹市・調布市・府中市からなる四者協で合意を得るべく、協議・調整を進めていただきました。昨年12月には四者協の合意が得られ、広さ及び形状など詳細が決まってまいりました。しかし、この用地は、平成25年度に開催されるスポーツ祭東京2013の駐車場用地として活用され、その後土壌調査等が行なわれる予定となっておりますので、取得時期等については都・財務局との協議に入っております。

5 整備スケジュール

整備スケジュールは、早期整備に努め、できる限り早い時期に新たな学校給食センターを建設いたします。平成28年度中の供用開始が、最短のスケジュールと考えておりますが、用地や検討等の状況により、変更もあるものと考えております。

時 期	内 容
平成24年度	基本構想、基本計画
平成25年度	基本設計
平成26年度	実施設計
平成27・28年度	建設
平成28年度	供用準備・供用開始